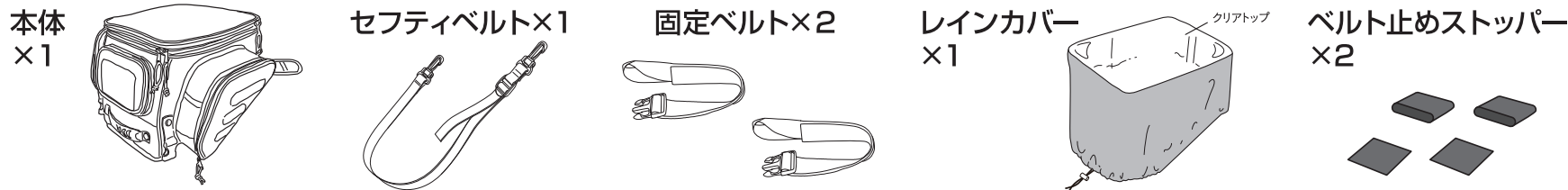


取扱説明書

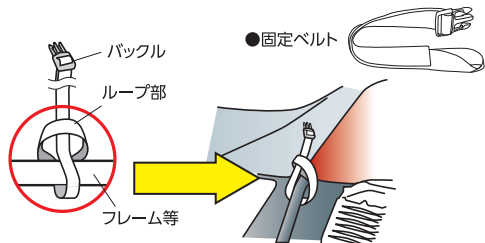
この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。(取扱説明書はお手もとに保管しておいてください。)

部品構成

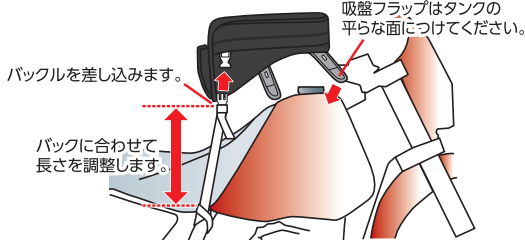


固定ベルトの取付方法

1 バッグの取り付け位置を想定し、固定ベルトのループ部分をフレーム等に取り付けてください。(車種によってはシートを一度外して下さい)

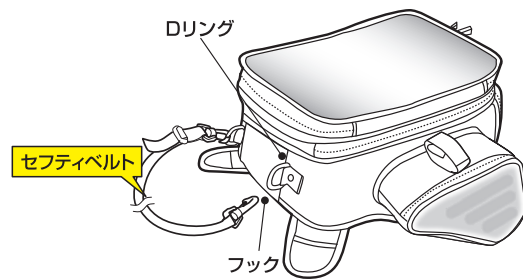


2 バッグの位置に合わせて固定ベルトのバックルを、バッグに接続しベルトの長さを調整します。固定ベルトは左右均等に適度なテンションをかけてください。吸盤はしっかりと貼り付けてください。



セフティベルトの使用法

1 セフティベルトの片側のフックをDリングにつなぎます。



2 オートバイのステアリングヘッドに右図の様にセフティベルトをまわし、緩みのないように長さを調整して、フックをもう片方のDリングに固定します。

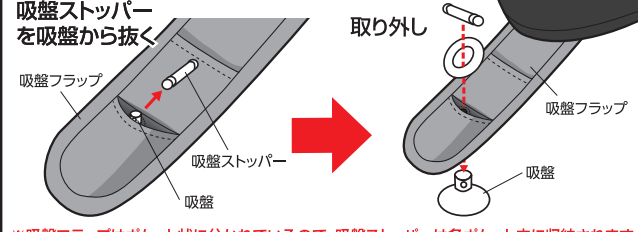


バッグを装着しないとき



ベルト止めストッパーのベルクロを車両側にはりつけて固定ベルトが落ちないように止めておくことができます。

吸盤の交換



※吸盤フラップはポケット状に分かれているので、吸盤ストッパーは各ポケット内に収納されます。

警告

- セフティベルトは必ず車両フレーム側に回し、絶対に可動するハンドル部等には固定しない事。
- 取り付け後、及び乗車の前には必ずハンドル操作等、安全な運転に支障がないか確認する事。
- 上記の取り付け方を守らないと、転倒等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

取付上の注意

- タンクの傷付き防止のため、取り付ける前に吸盤やバッグの接触面の汚れを取り除いてください。
- ベルト等が強く当たる箇所がある場合にはモトフィズプロテクターシート(別売)等をご利用ください。
- バッグ着脱の際には、タンク傷付き防止のため吸盤フラップを引きずらずに、必ず持ち上げてください。
- タンクが高温になると吸盤も高温となり、タンク表面に吸盤の跡がつく場合があります。予めご了承ください。
- 吸盤の貼り付け面は凹凸や湾曲があると、十分な吸着力を得られない場合があります。できるだけ平らな面に貼り付けてください。

保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
 - 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。
- ⚠注意 / ベンジン、シンナー等の使用、水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。

使用上の注意

- 法定速度以上での使用は脱落の恐れがありますので、お避けください。
- また、走行時には必ず脱落防止のためのセフティベルトを使用してください。
- 角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合は、パッキン等で包んで収納してください。
- レインカバーは付属しておりますが完全防水ではありません。長時間、雨中で使用する場合には、予め中の荷物をビニール袋に入れる等の防水対策を行ってください。
- 携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等の引火性の強い危険物は収納しないでください。
- 林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。セフティベルトを必ず装着し、激しい走行には充分ご注意ください。
- 本製品は生地や縫製など通常の使用での耐久性は充分に考慮されていますが、ファスナーの開閉、バックルの着脱、吸盤の取扱いなどで無理な力を加えますと破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。
- 荷物の無理な押し込みは確実な装着を妨げる恐れがあるのでお避けください。
- 長期間バッグを装着した状態や炎天下などの高温になるタンクに使用した場合は塗装面に吸盤跡ができることがありますので、すみやかに取り外してください。
- 吸盤の吸着面を互いに接触すると変形する恐れがありますので、接触させたまま長時間放置しないでください。
- 吸盤の吸着面には傷が付く恐れがありますので、使用しないときは吸盤が他の場所にくっつかない様に注意してください。
- 濡れているところや油分があるところに吸盤を付けると、滑る恐れがあります。水分や油分は拭き取ってからご使用ください。
- 吸盤は紫外線等によって劣化します。変化があった場合は、早めの交換をお勧めします。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 最大収納重量は5.0kgです。

お求めはお近くのモトフィズ取扱店又はホームページ上にてご注文ください。

